

序

厚生省児童家庭局母子衛生課の心身障害研究課題、小児慢性疾患運動器系に関する研究は、昭和53年度より、小児パラプレジアを対象とした研究テーマで発足、昭和54年度は次のような研究テーマで行われた。

1. 脊柱先天異常に伴う脊髄障害に関する実験的研究

研究班員 小野村敏信（大阪医大整形外科）

2. 脊髄モニタリングの臨床応用に関する問題点

研究班員 竹光 義治（旭川医大整形外科）

3. 北海道内的小児パラプレジアの調査

研究班員 金田 清志（北大整形外科）

4. 脊柱長軸方向牽引による誘発脊髄電位の変化に関する研究 成猫による実験

研究班員 山内 裕雄（順大整形外科）

新生児開放性脊髄膜瘤の早期閉鎖術 V-P シャントの短期成績について

共同研究者 岩谷 力（静岡県立こども病院）

5. 神経栄養障害にもとづく足部の難治性 Pressure Sore の治療について

研究班員 山根友二郎（帝京大整形外科）

6. 小児ParaplegiaとMetrizamide myelography

研究班員 大塚 嘉則（千大整形外科）

7. 小児パラプレジアの病因と治療に関する研究

研究班員 村地 俊二（愛知県心身障害コロニ

8. Spina bifida occultaに伴う脊髄牽引症候群の診断と治療

研究班員 山本 博司（徳島大整形外科）

9. 小児パラプレジア症例における二次変形発現の臨床的検討

研究班員 井沢 淑郎（神奈川県立こども医療センター）

10. 小児水頭症における脳幹機能について

聴性脳幹反応（ABR）とblink reflexによる評価

研究班員 喜多村孝一（東京女子医大脳神経センター）

11. 脊椎披裂児の直腸肛門機能及び排便管理

研究班員 高橋 英世（千大小兒外科）

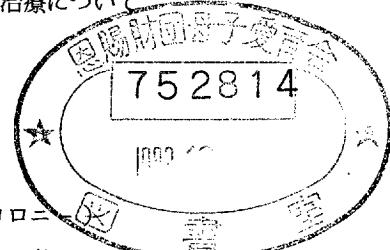
12. 小児パラプレジアの病因と治療に関する研究

研究班員 山口和郎（横浜市大脳外科）

13. 小児パラプレジアの病因と対策に関する研究

パラプレジアと脈波

研究班員 高橋 勇（獨協医大）



14. 小児パラプレジアの神経障害の早期診断法に関する研究（小児パラプレジアに対する
metrizamide myelographyについて）

研究班員 山下 武広（千葉市立病院）

15. 高位二分脊椎症例の検討

研究班員 陣内 一保（神奈川県立こどもセンター）

16. 小児パラプレジアに対する電動車椅子の試作（補：横隔膜ペースメーカー）

研究班員 斎藤 篤（国立下志津病院）

17. 1児パラプレジアに対する補装具の評価と工夫

プラスチック膝継手とP.T.B式プラスチック免荷装具の検討

研究班員 渡辺 英夫（佐賀医大整形外科）

本報告書はこれらの研究班の昭和54年度の研究成果をまとめたものである。多くの注目すべき知見が含まれており、各方面の御活用を期待したい。

昭和55年4月

主任研究者（班長）

千葉大学教授 井上駿一

↓ 検索用テキスト OCR(光学的文書認識)ソフト使用 ↓

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

厚生省児童家庭局母子衛生課の心身障害研究課題、小児慢性疾患運動器系に関する研究は、昭和 53 年度より、小児パラプレジアを対象とした研究テーマで発足、昭和 54 年度は次のような研究テーマで行われた。